

第2回「山の日」記念全国大会
実施計画（骨子）



目次

	頁
第1章 大会概要	
1. 大会の名称	1
2. 大会の期間	1
3. 開催地	1
4. 行事等の概要	1
5. 推進体制	2
6. 大会理念	3
7. 大会の目標	3
8. 大会テーマ及びロゴマーク	4
第2章 記念式典等行事	
1. 記念式典	6
2. シンポジウム	7
3. レセプション	8
4. 歓迎フェスティバル	8
第3章 招待者計画	
1. 招待者、想定規模	9
第4章 宿泊、輸送、警備計画等	
1. 宿泊計画	10
2. 輸送計画	10
3. 警備計画	10
4. 地元住民・観光事業者・観光客等への影響緩和対策	10
5. 輸送ルート	11
第5章 連携イベント計画	
1. 連携イベント計画	12
第6章 広報計画	
1. 広報計画	14

1.大会の名称 第2回「山の日」記念全国大会

2.大会の期間 平成29年8月10日（木）から11日（金・祝）までの2日間
 ※連携イベントは8月11日を中心とする夏休み期間をメインに春季から秋季にかけて実施

3.開催地 栃木県那須町
 ※連携イベントは県内各地で開催

4.行事等の概要

日時		行事概要	場所	備考
8月10日 (木)	〇〇：〇〇～ 〇〇：〇〇 (午後)	レセプション	那須町内の 施設	招待者
8月11日 (金・祝日)	9:15～ 10:40	記念式典	那須町 文化 センター	招待者、 一般公募
	11:00～ 12:00	シンポジウム	那須町 文化 センター	招待者、 一般公募
	11:30～ 19:00	歓迎フェスティバル	余笹川 ふれあい 公園	一般参加
春季から秋季までの期間 (8月11日を中心に夏休み期間をメ イン)		連携イベント (自然体験、健康づくり 活動など、参加・体験型 イベント開催)	県内各市町	一般参加

5. 推進体制

【主催者】

第2回「山の日」記念全国大会実行委員会（平成28年10月28日設立）

○ 特別職

名誉顧問 谷垣 禎一 ((一財)全国山の日協議会会長)
顧問 衛藤 征士郎 (超党派「山の日」議員連盟会長)
安藤 宏基 ((一財)全国山の日協議会副会長)

○ 構成員

会長 福田 富一 (栃木県知事)
副会長 松沢 哲郎 ((一財)全国山の日協議会副会長)
五月女 裕久彦 (栃木県議会議長)
高久 勝 (那須町長)
金田 尊男 (栃木県環境森林部長)

委員 警察庁、消防庁、文部科学省、スポーツ庁、林野庁、国土交通省、観光庁、環境省、一般財団法人全国山の日協議会、栃木県市長会、栃木県町村会、栃木県「山の日」協議会、栃木県森林組合連合会、公益社団法人栃木県観光物産協会、一般社団法人那須町観光協会、社会福祉法人とちぎ健康福祉協会、NPO法人栃木県ウォーキング協会、栃木県農業協同組合中央会、株式会社下野新聞社

【協 賛】 (平成29年●月●日現在)

【後 援】 (平成29年●月●日現在)



6.大会理念

我が国は、国土の約7割を山地が占める「山の国」です。

山は、命の源となる水を生み、森林や田畑を潤し、海を育てます。そしてまた、新鮮な大気が作られ再び雨となって山にもたらすといった、自然のサイクルの根幹担っています。古来より、山は畏れと敬意を持って尊ばれる存在であると同時に、人間社会にとって恩恵の源として存在しており、これら山の恩恵は、次代を担う子どもたちに着実に引き継いでいかなければなりません。

そこで、本年8月に本県那須町で開催する第2回「山の日」記念全国大会では、「山の日」の意義である『山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する』ことへの理解促進はもとより、美しく豊かな自然を守り、次の世代に引き継ぐことの大切さについて広く浸透を図ります。

7.大会の目標

① 「とちぎらしさ」を実感できる参加・体験型の大会

本格的な登山から、身近な里山における自然体験や健康づくり等の場まで、幅広い分野で多くの方々に親しまれている、本県の山々の特徴を最大限に活かして「とちぎらしさ」を存分に実感できる参加・体験型の大会にします。

② 山の魅力を満喫し、山の恵みに感謝する大会

イベントにおける様々な体験を通じて、「とちぎ」の山々が育んだ美しい自然や豊かな食の恵み、さらには特色ある温泉などの魅力を満喫していただくことにより、山の恩恵に感謝し、山を守り育てていく大切さを広く伝える大会にします。

③ プレデスティネーションキャンペーン等と連携し、開催効果を広く波及させる大会

8月11日の「山の日」を中心とする夏休み期間をメインに、春季から秋季にかけて県内各地で開催される「山の日」に関連したイベントと連携するとともに、プレデスティネーションキャンペーン(※1)や国立公園満喫プロジェクト(※2)との相乗効果を発揮させ、「とちぎ」の魅力を全国に発信することで観光誘客を図り、その効果を広く普及させる大会にします。



“五感で満喫「とちぎの山」”を大会コンセプトとして大会を展開

※1 デスティネーションキャンペーン(DC)

JRグループ6社(北海道、東日本、東海、西日本、四国、九州)と地域(地方公共団体、住民、企業など)が協働で取り組む国内最大級の観光キャンペーン。

平成30年4月～6月に実施するDCの対象地として栃木県が選定され、第2回「山の日」記念全国大会を開催する平成29年には、4月～6月の期間でプレDCが行われる。

※2 国立公園満喫プロジェクト

平成28年3月に政府が取りまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、環境省が日本の国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてのブランド化を図ることを目標として実施する取組。

平成28年7月に先行的・集中的に取り組む8つの国立公園が決定し、そのうちの一つに日光国立公園が選定(選定のポイント: 欧米人来訪の実績)された。

8.大会テーマ及びロゴマーク

① 大会テーマ

山と共に～人と自然がつながる社会へ～

【作成趣旨】

子どもたちの「山への想い」を表現したもの

※第1回山の日記念全国大会において全国公募により選定されたテーマです。

② 大会ロゴマーク

■ 「山の日記念全国大会」の統一ロゴマーク



【作成趣旨】

子どもたちの「山と人との関わり」を具現化したもの

※長野県（旧安曇村）の小学生がモチーフ制作に関わり作成

■ 「第2回「山の日」記念全国大会」用のロゴマーク

第2回大会の象徴として「とちぎ」らしさを表現したロゴマークです。



【作成趣旨】

「山」のシルエットには私たちの生活に欠かせない、緑や大地、川（水）がデザインされています。

また、本県を代表する農産物である「いちご」、県獣「カモシカ」と今も那須の地に伝わる「白面金毛九尾の狐」伝説の狐の尻尾をモチーフに採り入れ、「とちぎ」ならではのデザインとなっています。

■ 大会ロゴマークと「第2回「山の日」記念全国大会」用ロゴマークとを組み合わせる場合



第2回 「山の日」記念全国大会
in 那須 2017



1.記念式典

■ 基本的な考え方／ 鳥瞰映像により、雄大で美しい「とちぎ」の山々を視覚的に体感いただくほか、山に深く関わる人々による山への感謝のメッセージに耳を傾けていただき、「とちぎ」の山の魅力を五感で満喫していただきます。

■ 日 時 8月11日（金） 9時15分～10時40分

■ 場 所 那須町文化センター

■ 出席者 国務大臣(関係省庁)、山の日制定功労者（山の日議連・全国山の日協議会）、県選出国會議員、協賛企業、国機関、次期開催自治体関係者、県・市會議議員、地元（地域）関係者等、県・市町関係者、山岳関係者、一般参加者等

■ プログラム

区分	時間	プログラム	内容
招待者入場	8:00		
プロローグ	9:15	プロローグ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 郷土芸能 九尾太鼓 白面金毛九尾狐に扮装した衆による太鼓に合わせて、那須に伝わる昔話“九尾狐の伝説”を語り部が栃木弁で語る郷土芸能を披露
記念式典	9:30	開会の言葉	
	9:33	国歌斉唱	
	9:35	主催者等挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実行委員会会長等の挨拶
	9:49 (20分)	メインアトラクション	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3章構成の演出で「とちぎ」の山の魅力を五感で感じていただく <ul style="list-style-type: none"> ・第1章：鳥瞰映像により雄大な山々の映像を上映し、美しい「とちぎ」の山々を視覚的に体感いただく ・第2章：山の恩恵を受けて生活、活動している人々の山への感謝の想いに耳を傾けていただく ・第3章：「山の日」制定を提唱した船村徹氏のメッセージを発信するとともに、氏がプロデュースした「山の日うた」を加藤登紀子さんらと参加者が合唱する
	10:09	リレーセレモニー	「山の日」のシンボルである「山の日帽」を次期開催地自治体の関係者に引き継ぐ
	10:14	閉会の言葉	
エピローグ	10:20 (20分)	「山の日」コンサート	加藤登紀子さんによる「山の日」コンサートを開催する

注：出演者については、今後正式に出演依頼する予定であり、現時点で決定したものではありません。

第1回大会と同様に式典の開幕、閉幕を告げる鐘（山鐘（さんしょう））をつく予定です。

2.シンポジウム

- 基本的な考え方／ 山は登山という側面だけではなく、自然体験や健康づくりの場として親しまれていることや、清冽な水や新鮮な空気、さらには実り豊かな農作物を育むなど多くの恩恵をもたらしているという視点で掘り下げて考えることで、改めて山の恵みに感謝し、美しく豊かな自然を守り、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えます。
- 日 時 ／ 8月11日（金）11時00分～12時00分
- 場 所 ／ 那須町文化センター
- 出席者 ／ 記念式典の参加者と同じ

■ プログラム

区分	時間	プログラム	内容
招待者着席完了	10:50		
シンポジウム	11:00	コーディネーター登場	■ コーディネーターからシンポジウムのテーマを説明 【コーディネーター候補】 山と溪谷社『ROCK&SNOW』編集長 萩原浩司
	11:05 (10分)	パネリスト登場	■ パネリストがステージに登場し、コーディネーターから紹介 【パネリスト候補】 ①女優 小林綾子 ②お笑い芸人（U字工事） 益子卓郎 ③山岳ライター 小林千穂 ④サントリー エコ戦略部 山田健
	11:15 (32分)	パネリスト意見発表	■ パネリストがテーマに沿った意見を発表
	11:47 (10分)	ディスカッション	■ パネラー間でディスカッション
	11:57 (3分)	まとめ	■ コーディネーターによる総括、締めくくり
	12:00	終了	

注：出演者については、今後正式に出演依頼する予定であり、現時点で決定したものではありません。

3.レセプション

- 基本的な考え方／ 地元那須町をはじめとして、「とちぎ」の山々が育んだ実り豊かな食の恵みを満喫していただけるよう、本県ならではの心のこもったおもてなしで来県する皆様をお迎えします。
- 日時 平成29年8月10日（木） 〇時〇分～〇時〇分（午後）
- 場所 那須町内の施設
- 出席者 招待者
- メニュー 地元産の食材をふんだんに使用した「とちぎ」ならではのおもてなしメニュー
（食材例）とちぎ和牛、そば、アユ、地酒、地ビールなど

4.歓迎フェスティバル

- 基本的な考え方／ 来場いただく皆様に、「那須」はもとより「とちぎ」のいいものを五感で感じ堪能していただくとともに、食の提供や健康づくり体験を通じて、改めて山の恵みに対する感謝の気持ちを想起させる契機とします。
- 日時 平成29年8月11日（金） 11時30分～19時00分
※ 開催時間は、周辺道路の渋滞発生を防ぐため、記念式典等の時間との重複を避けるとともに、那須町内の宿泊者等が夏の夜の夕涼みとして気軽に参加できるように設定する。
- 場所 那須町余笹川ふれあい公園
- 来場者 5,000名程度を想定
- プログラム



ステージ展開案	参加・体験型イベント展開案	グルメブース展開案
<ul style="list-style-type: none"> ○ 和太鼓演奏 九尾太鼓(那須町)、那須野が原疎水太鼓(那須塩原市)、与一太鼓(大田原市)の和太鼓共演 ○ 那須のお囃子、獅子舞、神楽 山の恩恵を受けた那須の歴史を感じ、那須町に伝わる伝統芸能を披露 ○ 「山の日」ファッションショー レジャー、スポーツ、職業など山に関わる人たちのファッションショーを開催 ○ 那須山岳救助隊トレッキングトークショー 那須山岳救助隊員によるトレッキング講習や登山体験談などのトークショーを開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 川とふれあう体験 カヌー体験や魚のつかみ取りなど子どもたちを対象とした各種体験イベントを開催 ○ サイクリング体験 那須高原ロングライドコースの一部を家族や仲間とサイクリングするイベントを開催 ○ チェーンソーアートデモンストレーション チェーンソーアートデモンストレーション、チェーンソー体験により木の魅力を感じていただく。 ○ ふれあい動物コーナー 子どもたちの参加によるアルパカへの餌やり、乳牛への乳搾り体験等のイベントを開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 那須町のご当地グルメ出展 黒田原ぎょうさ、那須和牛井、那須産豚のとろ天丼などのご当地グルメをはじめ飲食ブースを出展 ○ 那須のおいしいパンコーナー 那須町内で営業する自家製パンの販売。米粉のパンなど那須でしか買えないパンを提供。 ○ 満喫！とちぎの和牛バーベキュー大会 とちぎ和牛や那須町の夏野菜をふんだんに使ったバーベキュー大会を開催。 ○ 県内市町、協賛ブース 県内市町の名産を提供するブースや協賛企業へのメリットを付与する協賛ブースを出展
フィナーレ演出		

1.招待者・想定規模

参加者区分		想定規模	
		レセプション	記念式典・シンポジウム
特別招待者	国務大臣 国会議員（山の日議連関係者、栃木県選出）	〇～〇人	〇～〇人
一般招待者	国機関 次期開催地自治体の関係者 協賛企業 （一財）全国山の日協議会関係者 栃木県議会議員 那須町議会議員 栃木県内市町長 地元（地域）関係者 等	〇～〇人	〇～〇人
一般公募		—	〇～〇人
その他	運営要員等	—	〇～〇人
想定人数合計		100人程度	最大1,000人程度

- 注) 1 レセプションは、第1回山の日記念全国大会と同規模として100人程度を想定する。
 2 記念式典は、会場的那須町文化センターの収容能力から最大で1,000人程度を想定する。



那須町文化センター



那須町余笹川ふれあい公園
 （九尾まつりの様子）

1. 宿泊計画

- 基本的な考え方／ 記念式典・シンポジウムの招待者などの方々には、式典等の前日の8月10日に御宿泊いただくことで、大会行事に円滑に参加いただけるように受入体制を整えます。
- 宿泊予定地 ／ 那須町内施設を中心として、状況に応じて周辺市町内の施設に拡大して選定します。

2. 輸送計画

- 基本的な考え方／ 宿泊地から記念式典会場間の安全かつ円滑な通行を確保します。また、記念式典会場に輸送管理本部を設置して、運行状況の管理等を行います。
- 輸送ルート ／ 宿泊地から記念式典会場間は、県道17号線から国道4号を主な輸送ルートとし、バックアップルートとして県道21号線または県道68号線での迂回ルートを計画します。
- 駐車場 ／ 記念式典会場内では、招待者用車両や警備上必要となる車両等の駐車場を確保します。また、歓迎フェスティバルへの来場者駐車場は、周辺道路の渋滞緩和を考慮しながら、会場近隣の駐車場を有効に活用します。

3. 警備計画

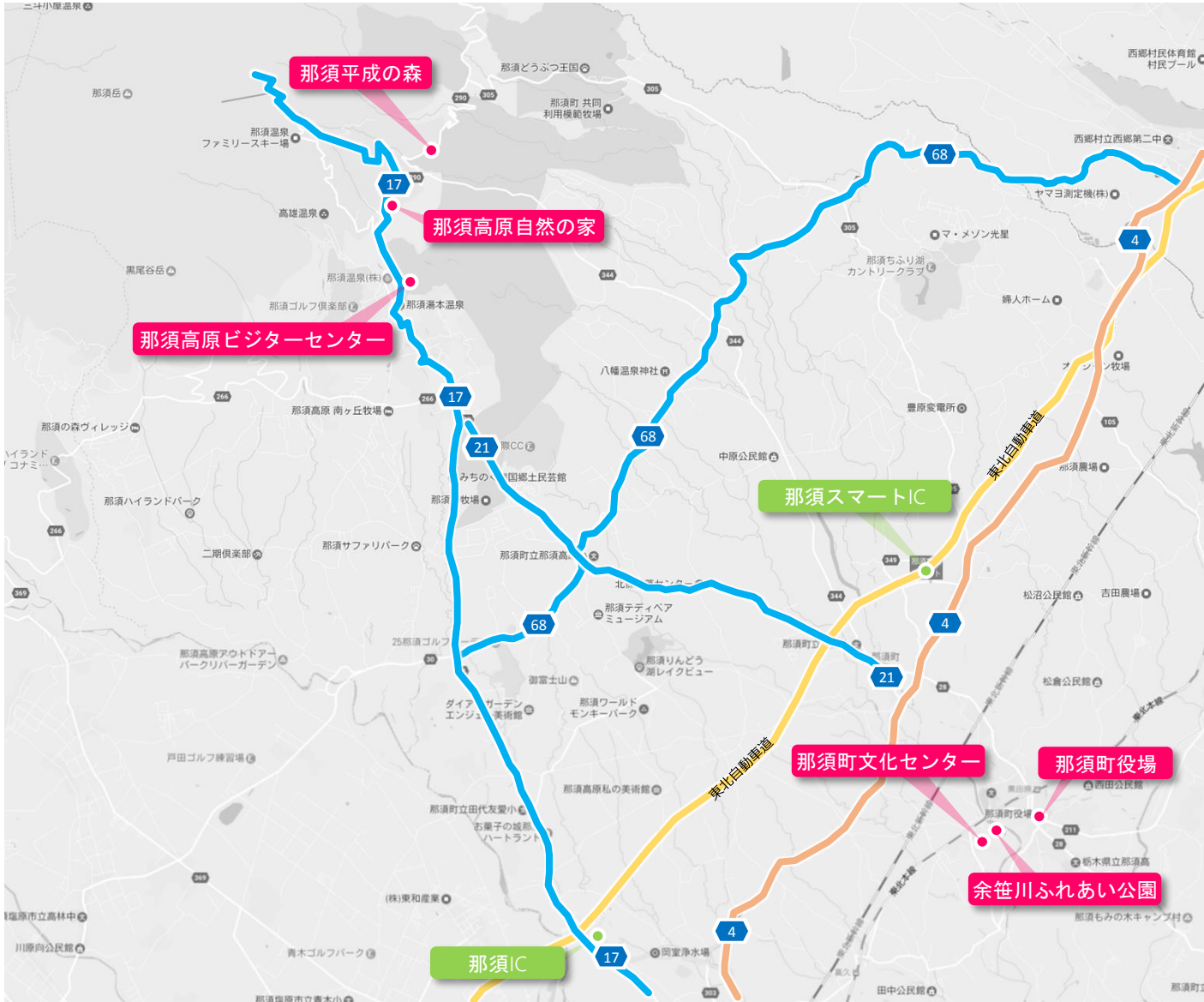
- 基本的な考え方／ 大会の円滑な運営を図るため、栃木県警察本部等と協力して会場警備や入場警備等を行います。

4. 地元住民・観光事業者・観光客等への影響緩和対応計画

- 基本的な考え方／ 大会開催による交通規制等に伴う地域住民・観光業者・観光客等への影響を低減させるため、開催前に地元の方々に説明するなど大会に関する情報発信を行います。また、大会当日は大会運営本部に問合せ受付担当を設け情報発信の体制を整えます。

5.輸送ルート

宿泊地から記念式典会場間は、県道17号線から国道4号を主な輸送ルートとし、バックアップルートとして県道21号線または県道68号線での迂回ルートを計画します。



<凡例>

- : 県道17、21、68号
- : 国道4号
- : 東北自動車道

1.連携イベント計画

■ **基本的な考え方**／ 県内各地で開催される「山の日」の趣旨に合った自然体験や健康づくり活動などの参加・体験型のイベントと連携することで、オール「とちぎ」で大会を盛り上げるとともに、開催の告知や「山の日」の意義の周知、浸透をさらに促進します。

■ **開催時期** ／ 平成29年春季から秋季にかけて
(8月11日を中心に夏休み期間をメインとする)

■ **場所** ／ 県内全市町

■ 平成28年度の開催事例

イベント等名称	実施時期	実施主体	場所	イベント等の内容
深山の森ウォーク	H28.6～11	塩原温泉ビジターセンター	塩原温泉ビジターセンター	高原山山麓ハイキング等
英国大使館別荘記念公園開園記念企画展「サー・アーネスト・サトウが築いた国際的避暑地日光」	H28.7.1(金)～8.31(水)	県立図書館	県立図書館1階	英国大使館別荘記念公園の開館を記念して、別荘の創建者であるアーネスト・サトウと息子の武田久吉の功績や関連図書等に関する展示
森づくり講座	H28.7.16(土)～11.5(土)	公益社団法人とちぎ環境・みどり推進機構	矢板市 県民の森ほか	森とのふれあいの講座や間伐・枝打ち等を行う森づくりの講座を開催
第5回親子登山教室	H28.7.23(土)・24(日)	(公社)日本山岳会 栃木支部(共催:栃木県山岳連盟)	奥日光(光徳周辺/男体山)	大自然に触れながら、親子の絆を深め、他人と協働しながら青少年の人格育成の一助とする。
親子で夏の滝探検! in奥日光	H28.7.24(日)	日光自然博物館	滝	滝を目指して山の中を探検する、親子で楽しめるイベント
森林わくわく体験ツアー	H28.7.30(土)	公益社団法人とちぎ環境・みどり推進機構	日光市湯元 ほか	県民を対象に、治山・林道事業等の施行地の見学及び自然観察会等を開催することにより、森林・林業に関する理解の促進を図る。
ネイチャートレッキング in社山	H28.7.30(土)	日光自然博物館	社山(中禅寺湖畔)	初心者向けのトレッキングイベント
【山の駅たかはら】夏の三滝めぐり	7月下旬	山の駅たかはら	山の駅たかはら	雷霆の滝、咆哮霹靂の滝、雄飛の滝をめぐる5時間程度の健脚ハイキング
「高原山の四季」写真展	H28.8	ふるさと高原山を愛する集い実行委員会	尚仁沢は一とらんど2F	「高原山の四季」写真展
「山の日」施行記念パネル展示	H28.8.1(月)～H28.8.11(木)	佐野市農山村振興課	佐野市役所本庁舎	佐野市の山、森林紹介等パネル展示
戦場ヶ原ガイドウォーク2016	H28.8月毎土日	日光自然博物館	戦場ヶ原	赤沼自然情報センターを起点にした戦場ヶ原のガイドウォークイベント
戦場ヶ原ナイトハイキング2016	H28.8月毎土曜	日光自然博物館	戦場ヶ原	懐中電灯をできる限り使わず、夜の戦場ヶ原を歩くイベント
キャンプファイア&早朝生きものウォッチ in県民の森	H28.8.6(土)・7(日)	栃木県県民の森	県民の森キャンプ場	キャンプ場に宿泊し、夜のキャンプファイアと早朝の自然観察を楽しむ。
森の子サミット	H28.8.7(日)	公益社団法人とちぎ環境・みどり推進機構	宇都宮市 冒険の森	県内の緑の少年団やエコ活動に取り組むグループの児童・生徒等を対象に、相互交流を図りながら、森林に対する親しみや理解を深めるための交流会を開催
エンジョイネイチャー① エンジョイネイチャー② エンジョイネイチャー③	①H28.8.10日(水)～11日(木) ②H28.9.3(土)～4日(日) ③H28.10.8(土)～9日(日)	なす高原自然の家	なす高原自然の家	登山の基礎知識・基礎技術の習得を目的とした那須登山を実施する。内容を変えて3回実施する。

第5章 連携イベント計画

イベント等名称	実施時期	実施主体	場所	イベント等の内容
「山の日」記念イベント	H28.8.10日(水)～14日(日)	塩原温泉ビジターセンター	塩原温泉ビジターセンター周辺	夏の山を楽しめる各種プログラムの実施
しおや湧水の里ウォーク2016	H28.8.11(木)	しおや湧水の里ウォーク実行委員会	塩谷町内	玉生から尚仁沢を周回するコース(約40.8キロ)を制限時間内で歩く。
HAPPY HAPPY de アウトドア～ハイキング&BBQ	H28.8.11(木)	山の駅たかはら	山の駅たかはら	ハイキング(山・滝)とバーベキュー
男体女人登拝	H28.8.11(木)	日光二荒山神社	二荒山神社中宮祠	男体山女人登拝
元気あつぷむら夏祭り	H28.8.12(金)	高根沢町元気あつぷぶむら	高根沢町元気あつぷぶむら	地元農産物の販売や模擬店、ステージイベント、山の日記念ミニ打ち上げ花火
中禅寺湖畔ナイトハイキング2016	H28.8.12(金)・19(金)・26(金)	日光自然博物館	中禅寺湖南岸	奥日光中禅寺湖畔でのナイトハイキングイベント
三疊山大文字焼き	H28.8.15(月)	三疊山大文字焼き運営委員会	みかも山の西斜面 観覧会場：佐野工業団地会館	大文字焼きの鑑賞、ステージセレモニー
東京農工大学地域連携事業・みんなの元気な森づくり支援事業～木の形、森の形～	H28.8.21(日)	佐野市環境政策課	東京農工大学唐沢山演習林	森林観察会、野外体験活動
やいた八ヶヶ原ヒルクライムレース2016	H28.8.21(日)	矢板市、サイクルスポーツマナーゼジメント勝、じてんしゃの社(やいた八ヶヶ原ヒルクライム事務局)	八ヶヶ原周辺	全長13.4km、平均斜度7.1%、標高差950mの自転車ヒルクライムレース
高原山登山道のササ刈り	H28.8.21(日)	くまの木里山応援団	高原山登山道	高原山登山道のササ刈り
グリーンスタッフ養成講座	H28.9～12	公益社団法人 ともぎ環境・みどり推進機構	塩谷町 宇都宮大学船生演習林ほか	森林・林業、自然環境等に関する知識、技術等を習得するための講座を開催し、ボランティアによる森づくり等の指導者を養成
ツリークライミングin県民の森	H28.9.3(土)・4(日)	栃木県県民の森	県民の森キャンプ場	ツリークライミング
太平山ハイクとぶどう狩り	H28.9.4(日)	県立太平少年自然の家	太平少年自然の家 近辺の山とぶどう園	太平山の自然に触れるハイキングとぶどう狩り
第5回那須連山縦走フェスティバル	H28.9.24(土)	マウントジーンズ那須ゴンドラ、FM栃木	那須連山	茶臼岳・朝日岳・三本槍岳の縦走登山
元気な森づくり記念イベント	H28.10	各環境森林事務所	県内4ヶ所	ともぎの元気な森づくり県民税事業実施箇所バスツアー、木工体験教室
第3回山女子会～三本槍岳に登ろう～	H28.10.1(土)	マウントジーンズ那須ゴンドラ、FM栃木	マウントジーンズ那須ゴンドラ、三本槍岳	山ガールだけで三本槍岳頂までの登山を楽しむ
東京農工大学地域連携事業・みんなの元気な森づくり支援事業～木の形、森の形～	H28.10.2(日)	佐野市環境政策課	東京農工大学唐沢山演習林	森林観察会、野外体験活動
土上平放牧場&高原山国有林見学ハイキング	H28.10.10(月)	ふるさと高原山を愛する集い実行委員会	土上平放牧場・高原山国有林ほか	土上平放牧場&高原山国有林見学ハイキング
親子で森づくり体験 in 高原山麓	H28.10.16(日)	くまの木里山応援団	くまの木裏山	親子で枝打ち体験やハイキング
紅葉のミツモチに登ろう!	H28.10.20(木)	栃木県県民の森	全国青樹祭記念緑地駐車場～ミツモチ山頂	鮮やかに紅葉した県民の森の最高峰ミツモチの登山
ふるさと高原山を愛する集い2016	H28.10.30(日)	ふるさと高原山を愛する集い実行委員会	玉生運動広場	バーベキューその他催し
森林環境学習指導者研修	H28.11～H29.2	公益社団法人 ともぎ環境・みどり推進機構	宇都宮市 栃木県中央公園	小中学教職員や森林ボランティア等を対象とした森林整備の手法や環境教育の進め方等に関する研修会
こどもチャレンジキャンプ	H28.11.5(土)・6日(日)	なす高原自然の家	なす高原自然の家	様々な体験活動を通して、仲間を作ること、協力することの大切さを学ぶとともに、たくましく生き抜く力を身につける。
踏破だ! 太平山	H28.11.5(土)・6日(日)	県立太平少年自然の家	馬不入山、晃石山、太平山、太平少年自然の家	馬不入山、晃石山、太平山を登破するチャレンジハイキングや、自然遊びを体験する。
どまんなかフェスタブース出展	H28.11.6(日)	佐野市林業振興会(佐野市農山村振興課)	田沼グリーンズスポーツセンター	木工教室等
自然の家わくわく体験デー	①H28.11.19(土) ②H28.12.3日(土)	なす高原自然の家	なす高原自然の家	調理活動・創作活動等を通して、親子のふれあいの場を設ける。内容を変えて2回実施し、いずれも創作活動と調理活動を実施
第10回「山」の講演会	H28.11.27(日)	(公社) 日本山岳会 栃木支部(共催:コンサーレ)	コンサーレ(栃木県青年会館)	安全登山や山岳文化活動の啓蒙
里山学講義2017	H29.2.19(日)	くまの木里山応援団	星ふる学校「くまの木」	高原山麓における森林についての講義
雨巻山登山	H29.3.11(土)	栃木県芳賀青年の家	雨巻山及び御嶽山・三登谷山	芳賀郡を代表する名山「雨巻山」等を縦走する。

1. 広報計画

- 基本的な考え方／ 大会の開催内容や趣旨等を県内外に広く周知するために、各種メディアを有効に活用して、効果的かつ計画的な広報活動を展開します。
また、プレデスティネーションキャンペーンや国立公園満喫プロジェクトとの相乗効果を広報活動でも発揮し、「とちぎ」の山々が育んだ美しい自然や豊かな食の恵み、さらには特色ある温泉などの魅力をPRすることにより本県への観光誘客を図ります。

■ 広報の取組

①大会専用ホームページの設置とSNSにより、即時性と拡散性の高い広報を実施	
WEB・SNS	大会専用ホームページやFacebookページにより、即時性の高い情報を発信。関係者のサイトとの相互リンクにより広がりを図ります。
②各種広報媒体を有機的に連動させ費用対効果の高い広報を展開	
テレビ・ラジオ等	各メディアの特性を最大限に活用し、それぞれを組み合わせることにより、年齢、地域、生活様式等の違いを補い幅広い広報を実施します。
新聞・雑誌等	県内新聞紙で、シリーズの特集を組む等、多くの県民の“目に触れる”広報や山岳雑誌とタイアップした特集記事などに取り組みます。
③政府広報、展開ポスター・チラシを活用した幅広い広報	
パブリシティ 政府広報等	メディアに積極的にプレスリリースを行うとともに、政府、関係省庁、県関係部局、那須町の広報媒体を活用した広報を実施します。
ポスター・ チラシ	国内外の観光客等に対して、視覚的に訴求力の高いポスターやチラシによる広報を実施します。
④各種イベントにおける広報	
各種イベント における広報	県内外における各種イベントにおいてブースを出展するなどの広報を実施します。